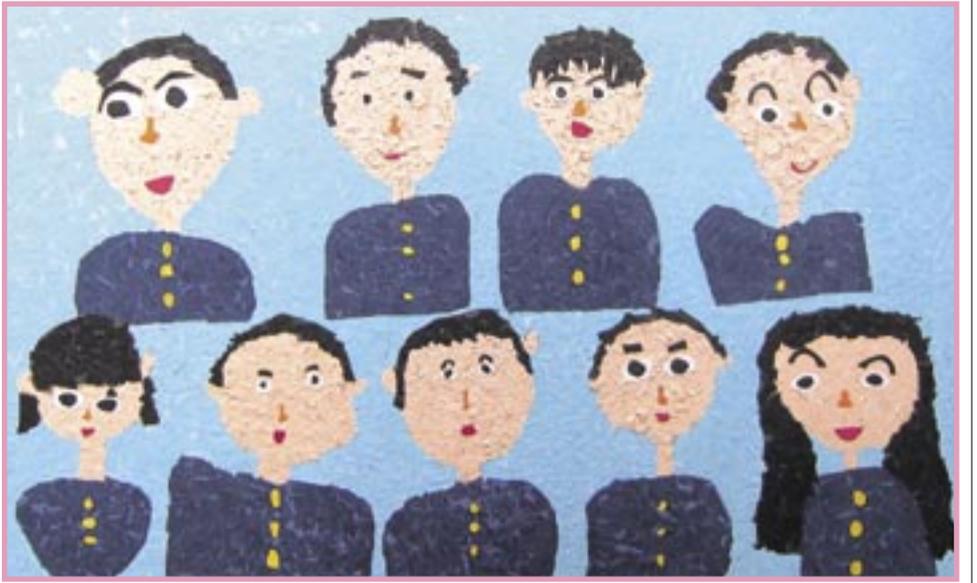


みんなでおえかき 矢部保育園 八女市矢部村北矢部5088 TEL 47-2510 田中一成 園長



ぼくたち  
わたしたちが  
がいたよ

毎日元気いっぱい、とっても仲良しの矢部保育園の年長(ゆり)組です。自然豊かな恵まれた環境の中で過ごす日々は発見の連続で、楽しみは盛り沢山!! そんな矢部村が大好きな子どもたちです。寒さに負けず、戸外ではサッカーや縄とびを楽しみ、園外保育では草花を摘んだり、田んぼの中を走り回ったり、散歩に行ったりとおいしい空気を身体に取り入れています。最近、室内では指先を器用に使い、ブロックや粘土遊びを通して作品作りに夢中のゆり組さん。もうすぐ卒園を控えていることもあり、今年は卒園記念にクラス全員で貼り絵を作りました。1m四方の板に、小さくちぎった画用紙を、絵に合わせて貼りつけていく作業。毎日少しずつ進め、努力の甲斐あり子どもたち一人ひとりの笑顔が輝く作品が完成しました。春の訪れはもうすぐ!! 残りの園生活を伸び伸び過ごしています。

**眩き 迷い**

小久保元選手の話聞いた。小学1年生の頃に野球を始め、先輩達が監督から厳しく怒られているのを見て最初は「行きたくない」と柱にしがみついて大泣きしたという。その時、母親は心を鬼にして引っ張って行った。その後、野球が大好きになり、厳しい練習を耐えてプロにまでなった。今世間で取り沙汰されている体罰も大いに受けた。金属バットでお尻を殴られるのは日常茶飯事。どんなに目の前で殴られても、母親は「私はあんたを監督に預けたのだから」と、黙って見守ったそうだ。小久保元選手は言う。「体罰を推進するわけではないが、殴られた事に対してあとで愛情を感じたし、母親も監督を信頼していた。殴られたくないがために自分は他の道に外れたりグレたりすることがなかった。監督と母親のおかげで今の自分がある」と。

私は母親としてそこまで鬼になれるだろうか、話を聞きながら娘が4ヶ月間だけ席を置いた陸上部の入部当時は思い出していた。学校でも一番厳しいと言われる陸上部に入部。体罰ではないが顧問教師からの言葉は人格そのものを否定するような暴言や罵声。部員は萎縮し、ひたすら言う通りに従う。先生の機嫌を損なわないために何をすべきかを考える毎日だった。朝一番に校門に立って「昨日はスイマセンでした」。また職員室に行って「部活を続けさせて下さい」と頭を下げる。教師の望んでいる行動をすれば何とか許してもらえ。そんな日々を繰り返すうちに、とうとう「辞めたい」と言い出した。やがて家に帰っても笑顔がなくなり、気づけばポロポロ涙が出ている。朝食を食べられなくなり、学校にも行きたくないと言い出した。その時、私は心を鬼にして「乗り越えて強くなりなさい」と怒るべきなのか、「もう部活辞めたら？」と救うべきなのか迷った。結局、何も言わず数日見守り、顧問教師に状況を話しに行った。全国レベルの選手を生み出しているだけに自分の指導に自信を持った応えだった。

バレーボールの三屋元選手は「私も監督に殴られて育てられた。上手くなるためというより殴られないためにと練習目的がすり替わっていた」と話す。打ちのめされて何クソ!と立ち上がる子もいる。しかし、逆に心身がまいつてしまう子もいる。先日、体罰で自殺した生徒は真面目で責任感の強い子だったと聞く。

暴言や体罰を受けた時、わずか十数歳の子どもが果たしてそこに愛情や信頼を感じ取れるのだろうか。逆に、殴る、暴言を吐く事を学んでしまい、自分の行動として使っていないだろうか心配になる。一人一人性格が違うし受け取る心が違うのも事実。今、親も教師も迷いの中にあるだろう。一人の人権。そこにしか答はないように思う。

森 志穂 (福岡市)

街かど gallery



八女市 城戸 和子

桜と私

桜の季節になると色々な事が思い出されます。桜は日本の国花であること、入学式、卒業式、入試の合否、新学期、年度変わり等々です。私の一番の思い出の桜は亡夫と最後に病院の窓から眺めた満開の桜でした。私が落ち込んでいた時、友人の誘いで高齢者大学に入学し、水墨画を中島美代子先生に御指導いただきました。それから七、八年経った頃でしょうか、桜のお手本をいただきました。満開の花の中には、半開きや蕾があり、桜の華やかさと、幹と小枝の艶を表現するのが難しかったのですが、一花一花に想いを込めて画いた作品です。

矢部川源流・杣の里の四季 ⑪  
フサザクラ(房桜, 総桜)[フサザクラ科]

フサザクラ科は世界に3種しかなくその一種が日本に生育している。サクラという名前がついているがサクラの仲間ではない。この植物が谷や沢沿いに生育し、葉が桑の葉に似ていることから別名タニグワ、サワフタギともいわれる。矢部村では杣の里溪流公園から少しのぼった八つ滝付近の谷沿いで見ることができる。雌雄同株、両性花で葉が出る前に開花する。花には花弁も萼もない。淡緑~暗紅色の雄しべの葯が多数垂れ下がり、雌しべは短く、雄しべの花糸の基部に隠れて目立たない原始的な植物である。樹皮は「鳥もち」として利用される。(黒木町) 松尾 重根



今月の田中店長  
おすすめコーナー



JAふくおか八女 筑後市前津503-1  
農産物直売所 ☎0942-54-7755  
「よらん野」 営業時間  
9:00~18:00

JAふくおか八女の新鮮食材を品揃えし、生産者と共に  
スタッフ一同心より感謝を込め、  
皆様のご来店をお待ち申し上げます。



いちご



キウイ



トマト



なす